



診断のない大学生支援の最前線

日時

2022年3月21日(月・祝) 10:30 ~ 12:00

開催方法 | オンライン

(お申込みいただいた方には Zoom URL をお送りします。)

参加無料

定員 | 先着 50 名 (裏面のお申し込みをご覧ください)

大学において、障害診断がない、あるいは人と関わるのが苦手な学生が一定数いることが調査で明らかになっています。障害学生支援の体制は整いつつありますが、診断のない学生は就職活動がうまく進められず未内定のまま卒業してしまう…

そんな学生が社会につながり続けるための「キャリア支援プログラム」。今年度、プログラムを利用してくれた学生の大学の担当者の方々から、「利用した理由や成果」「紹介の方法」などをお話しいたします。

プログラム

online



1. 開会のあいさつ・開催趣旨
2. 2021 年度実践報告 (キャリアプロ・BA-SE)
3. インタビュー 「大学における具体的対応と地域との連携を考える」

登壇者

インタビューア



安田和夫氏

(岐阜聖徳学園大学)



稲葉政徳氏

(岐阜保健大学)



後藤千絵

(サステイナブル・サポート)

4. クロージング 「大学生支援の必要性、今後の展望と展開について」

【開催趣旨】

障害診断のない学生の地域への移行が課題となっています。障害学生支援の体制は大学内外で整いつつありますが、診断がない学生の支援はどのように進めていけばいいのか、どの大学においても手探りで実施している状態です。特に就職活動がうまくいかないケースでは、未内定のまま社会に送り出し連絡がつかなくなるケースが多いようです。

文部科学省「平成30年度学校基本調査 状況別卒業生数の比率（大学〔学部〕）」によると、およそ14人に1人が進学も就職（アルバイトも含む）もせず、無業のまま卒業しています。また、日本学生支援機構の「令和2年度（2020年度）大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」によると、発達障害の診断書はないけれど配慮を受けていた学生のうち、卒業後の進路が不詳の者の割合が10.6%となっており、発達障害診断がある者の割合（8.9%）より高くなっています。

2021年に三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が東海3県（愛知県、岐阜県、三重県）の大学69校を対象に実施した調査によると、70%近くの大学では未内定学生に発達障害を疑う学生が含まれていると認識していると回答、そのうち約90%の大学では就職先未定のまま卒業・修了した後も学生に対する支援を継続しているが、約90%の大学では連絡がつかなくなったため支援ができなくなっていることを課題として認識していました。

一般社団法人サステナブル・サポートでは、2017年度より「就活困難大学生」を対象とした就労支援事業「キャリア支援プログラム『キャリプロ』」を実施しており、大学における従来の就職活動スキームでは就活・就職が難しい大学生に対し、進路未決定のまま卒業し、ひきこもりやニートになることを防ぐ目的でプログラムを提供しています。卒業や中退となる前から卒業後の進路が決まらない可能性のある学生と関係性を構築することで、卒業後の地域への移行を円滑に実施し、社会の中で若者が孤立することを予防する活動です。

コロナ禍で大学生の就職活動にも変化がある中、5年目となった2021年度は、従来の講義型の「ジョブゼミ」、コミュニケーションの場「サークル」に加え、サードプレイスの機能も持つキャリアサポートスペース「BA-SE」も開設しました。

今年度の報告会では、実際に学生にキャリプロをご利用いただいた大学の担当者の方々にお越しいただき、大学における学生支援の現状と具体的な対応・地域との連携および効果的な支援スキームについて考えていきます。

時節柄オンラインで開催いたしますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。



▲プログラム（PCチャレンジ）



▲スタッフと遊びながら就活を学ぶ



▲チームビルディング体験（ジェンガ対決・お店屋さん）



お申し込み

こちらのお申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/9PVfSE9HVeXdriEG8>



お申込み QR コードはこちら▶



お問い合わせ

○主催 一般社団法人サステナブル・サポート

○お問い合わせ キャリプロ事務局

メール info@sus-sup.org 電話 070-5579-7747

○本事業は、2021年度日本財団の助成をいただき実施しています。

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION